

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網では1～5回目、秋芽網では2～8回目を実施しています。
植物プランクトンは多くの漁場で減少傾向ですが、知多東岸地区南部の漁場では引き続き多く分布しています。栄養塩は概ね全域で不足しています。
のり漁期も中盤から終盤に差し掛かってきました。一部であかぐされ病がみられるので、拡大防止のため、早期摘採や干出等による網管理を徹底し、網の寿命を延ばすよう努めてください。

2 気象・海況

＜水温＞ 2月5日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	7.9 °C
	平年差	+0.6 °C

＜水温＞ 2月6日

漁生研 (-1.0m)	10時水温	7.7 °C
	平年差	-2.0 °C

＜潮位偏差＞ 2月5日

名古屋港	日平均偏差	±0 cm
	5日平均偏差※	+1 cm

※1月31日～2月5日までの平均

＜栄養塩・赤潮＞ (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部: やや少ない、中南部: 少ない	なし	植物プランクトンは少ない
知多東岸地区	少ない	なし	植物プランクトンは少ない～多い
西三河地区	やや少ない	なし	植物プランクトンは少ない～やや多い
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い: 121～、やや多い: 81～120、やや少ない: 41～80、少ない: ～40

※植物プランクトン基準(単位: 細胞/mL) 多い: 10,000～、やや多い: 5,000～10,000、少ない: 1,000～5,000、散見: 100～1,000、ほとんどいない: ～100

＜気温動向の予測＞ (気象庁週間天気予報より 予報期間: 2月7日から2月12日まで)

今後1週間	平均気温は、期間の初めから週末にかけて低くなる日が多いでしょう。週明けは、気温が平年並まで上昇する見込みです。
-------	---

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製 品	食害	病被害等
知多西岸地区	冷蔵: 1～5回 一部秋芽2～4回目	500～1,100枚	色調低下	一部でカモ	一部であかぐされ病
知多東岸地区	秋芽: 4～6回	400～1,000枚	色調低下	なし	一部で網上げ開始
西三河地区	冷蔵: 1～3回 一部秋芽: 7～8回	600～1,600枚	色調回復傾向	一部でカモ	病被害なし
東三河地区	秋芽: 3回	2,000枚	漁場により色調低下	不明	病被害なし

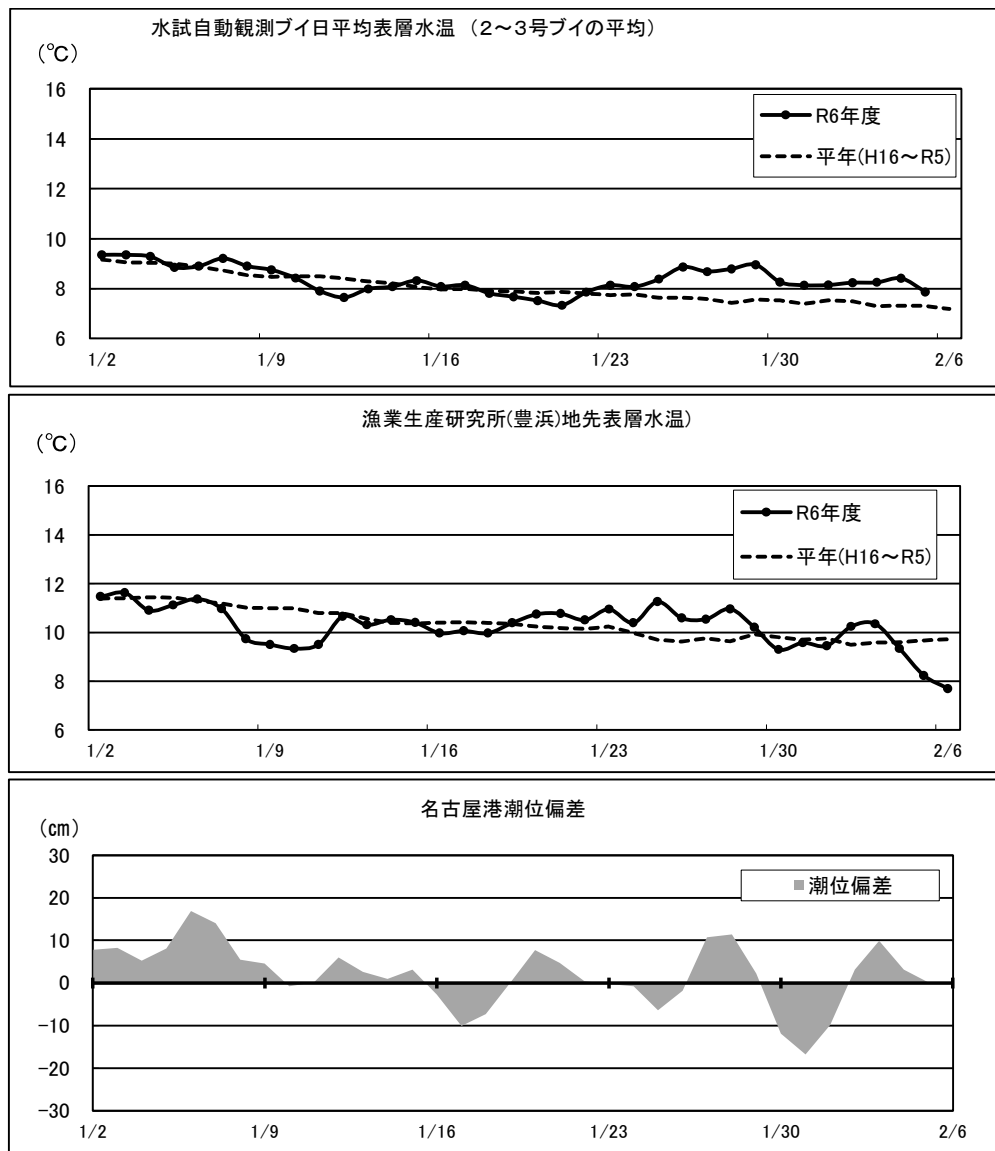
4 今後の管理

- ① あかぐされ病が発生している漁場では、早期摘採などの網管理により被害の軽減・防止に努めること。
- ② 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。
水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は2月13日(木)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査結果



栄養塩調査日：知多：2月6日(木)、西三河：2月5日(水)、東三河：調査終了
調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会